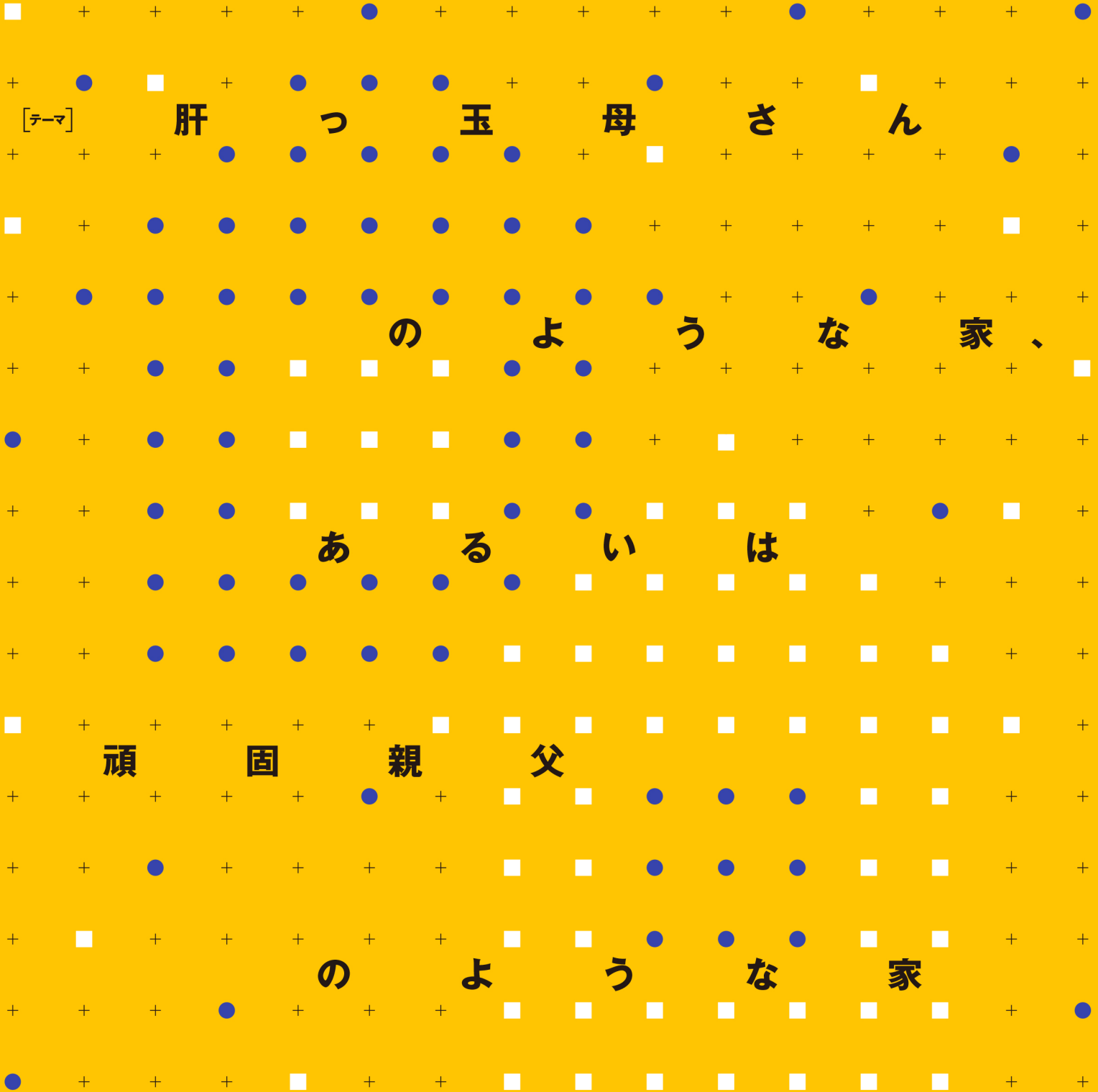


坂牛卓 ———— 1959年東京都生まれ。1983年東京工業大学工学部建築学科卒業。1983年IAESTE交換研修生としてスイス・バーゼルにて研修。1985年文部省給費留学生としてUCLA大学院建築学科修了。1986年東京工業大学大学院修士課程修了。1986-1998年日建設計勤務。1998年O.F.D.A associates設立。2009年信州大学工学部建築学科教授。2011年東京理科大学工学部第二部建築学科教授。[主な受賞]2005年第4回芦原義信賞・2007年日本建築学会作品選奨(リーム東京工場)。2015年 The international architecture award 2015(松ノ木のあるギャラリー)、2017年SDレビューSD賞(運動と風景)、2023年JIA 長野建築賞2023優秀賞(Fujimi Hut)。[主な著書]「建築の規則」(単著:ナカニシヤ出版)、「建築の条件」(単著:LIXIL出版)、「建築の設計力」(単著:彰国社)、「教養としての建築入門」(単著:中央公論新社)



家は家族の生活の場所です。それは雨風から家族を守る場所であると同時に家族の一員のような存在でもあります。生きてはいないものの、あたかも人格が備わっているような気持ちにさせられることがあります。家は生きているとも言えると思います。そこで今回皆さんには人格が備わっているような家を考えてもらおうと思います。———そこで二つの人格を設定しました。一つは「肝っ玉母さん」です。昔、肝っ玉母さんというテレビ番組がありました。包容力があって、優しく、子供の言うことをいろいろ聞いてくれて、でも芯が強く、頑張り屋という性格のお母さんが主役でした。こんな性格のお母さんを肝っ玉母さんと呼びたいと思います。———もう一つの人格はこの対極をいく性格で「頑固親父」です。排他的で、自分の言うことが正しいと信じ、意固地で、子供の言うことなど聞く耳持たない、と言うような性格です。こういうお父さんを頑固親父と呼びましょう。———お母さんは包容力があってお父さんが頑固というのは私が子供の頃の常識でした。しかし現代ではそうとも限らないかもしれません。その逆のケースもあるでしょう。しかしこのコンペではお母さんは肝っ玉母さん。お父さんは頑固親父とします。そして皆さんにはこのどちらかあるいは両方の性格を持った家を設計してもらおうと思います。ここに入るとその性格を持ったお母さん、あるいはお父さんを感じられる家を設計してみてください。建築という物理的な殻がどうしたら人間が持つような性格を表せるかを考えてください。建物の立つ場所、広さ、家族構成は各自設定してください。

[設計条件]

- 「肝っ玉母さんのような家、あるいは頑固親父のような家」
として工夫した点を具体的に示すこと。
- 設計する住宅の周囲の状況がわかるように表現すること。
- どのような人が、どのように使うのか、わかるように表現すること。
- 作品は、この課題のためにつくられたオリジナルのものであること。

[提出図面]

- A1 版用紙 1 枚 (841mm×594mm 縦使い) にレイアウトする。
コピー、CAD の使用などは自由。
- 配置図: 1/100 敷地周辺との関係を表現すること。
ただし、1 階平面図と兼用する場合は 1/50 とする。
- 各階平面図: 1/50 1 面以上とする。敷地内の外部空間も設計すること。
- 断面図、立面図: 1/50 または 1/100 それぞれ 1 面以上とする。
- 透視図または模型写真を少なくとも 1 点入れること。
- 提案に応じて図面の縮尺を変えてもよい。
- 図面はパネル化不可とする。

[応募要領]

- 応募資格: 原則として応募時に高等学校の建築科、
またはこれに準ずる学科に在籍しているもの。
共同作品の場合は、3 名までのグループとする。
また、同一人の応募は、2 作品までとする。
- 質疑応答: 応募要項にないものは、
すべて応募者の判断によるものとし、質疑応答は行わない。
- 提出期限: 2024 年 8 月 31 日
提出はすべて郵送とし、当日の消印のあるものまでを有効とする。
- 提出先:
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 日本工業大学 入試課
電話番号: 0480-33-7676
- 提出方法: 同一人が複数応募する場合および同一学校から
複数提出する場合は、応募作品をまとめて郵送する。
郵送物のわかりやすい箇所に「設計競技応募作品在中」と朱書きする。
- 応募用紙: 提出図面には、応募者の所属学校名、
氏名等は一切記入してはならない。
応募用紙をコピーの上、氏名等を記入し、
応募作品ごとに提出図面の裏面に貼る。

[応募作品の受取]

- 指導教員に対して応募作品の受取確認をメールまたは FAX で行う。
- 受取確認は提出期限後、1 週間程度以内に行う。

[審査]

- 審査委員:
坂牛卓 [建築家/東京理科大学教授]
西本真一 [日本工業大学建築学部教授]
竹内宏俊 [日本工業大学建築学部准教授]
- 入賞発表: 2024 年 9 月中旬ホームページ上にて発表。
- 授賞式:
2024 年 10 月 27 日、本学において行う。
出席する入賞者および指導教員の交通費は、本学で負担する。
当日は、審査委員のスライド・レクチャーと講評が行われる。
- 作品展示: 入賞作品は、授賞式の際に本学 LC センターにて展示する。

[賞について]

- 下記に対して、賞状及び賞品を贈呈する。
- 一等 — 1 点 / 賞品: 図書券 (10 万円相当) / 副賞: 10 万円
 - 二等 — 1 点 / 賞品: 図書券 (5 万円相当) / 副賞: 5 万円
 - 三等 — 1 点 / 賞品: 図書券 (3 万円相当) / 副賞: 3 万円
 - 佳作 — 10 点前後 / 賞品: 図書券 (1 万円相当)
- 副賞は、応募者の在籍する学校に指導費・研究費として贈られる。
 - 応募者全員に入賞作品集が贈られる。

[図面の返却]

- 応募作品は入賞作品を除き、提出図面のみを発表後 2 ヶ月以内に返却する。
- 入賞作品は返却しないので、必要に応じてあらかじめコピーをとっておくこと。
また、梱包用の筒等は返却しない。

[出版・展示]

- 入賞作品の公開 (展示・出版) は、本学の判断で行う。
- 入賞作品は、印刷物として刊行する。

[ホームページアドレス/メールアドレス]

HP = <http://nit-kenchiku.jp/activities/> (過去の入賞作品が掲載されています)
E-mail = kenchiku-compe@nit.ac.jp

裏のりしろ

(応募用紙を貼る際、この枠の裏側をのりしろにして下さい)

[第38回]

日本工業大学 建築設計競技 応募用紙

課題「肝っ玉母さんのような家、
あるいは頑固親父のような家」

- 応募作品ごとに、この用紙を
コピーして使用し、のりやテープ等で
図面の裏面に貼る。
- 共同作品の場合には、
○欄に代表者名を記入すること。
- 応募用紙には、楷書で記入すること。
- 応募用紙と図面の作品タイトルに
食い違いがある場合、図面を優先します。

整理番号
(記入する必要なし)

作品タイトル			
高等学校名 [正式名]	高等学校		
学校住所	〒	—	都 道 府 県
	電話番号	—	—
	FAX	—	—
指導教員名	メールアドレス		
生徒氏名 学科・学年	フリガナ		科 年
	○		
	フリガナ		科 年
	フリガナ		科 年